

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アフリカ連合平和基金(AU) 拠出金(任意拠出金)		担当部局	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	アフリカ第一課		課長 赤松 武		
会計区分	一般会計		施策名	VII-1 国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第2項, 第3項		関係する計画, 通知等	AUからの拠出要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	「AU平和基金」への拠出を通じて、G8を始めとするアフリカ開発のパートナー国と連携しつつ、AUの紛争予防、紛争解決及び紛争後の復興・開発に係る取組を支援するもの。なお、AU平和基金を財源とする紛争予防・管理・解決メカニズムは、紛争の予防を第一義とし、紛争勃発後は早急な和平工作により解決を目指し、そのため時宜に応じ規模及び期間を限定して文民又は軍人の監視ミッションを配置し、情勢の展開によっては国連等の介入を依頼するもの。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	テロやその温床を除去するためには、経済的支援に加え、統治機構を再建強化することが不可欠である。本案件はそのための紛争予防や調停等のAUの平和・安全保障分野での活動に協力するもの。これまで、AUソマリア・ミッション(AMISOM)のモガディシュやナイロビの事務所、ソマリアやジョハール、リベリア、コートジボワール、中央アフリカ、大湖地域のAU連絡事務所等の開設・運営の支援、また、AU平和・安全保障理事会や整備されつつある賢人パネル等の支援を通じた関連組織の能力向上等にも活用。平成22年度は、AU平和・安全保障年関連事業への支援を通じて紛争予防のための議論を深めることに貢献した。							
実施方法								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	24	22	15	25	20	
	執行額	24	22	15				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	成果目標:アフリカにおける平和と安定の達成 成果実績:国連安保理決議で扱われる国数 達成度:2000年以降国連安保理決議で扱われた国数(18)を半減させる。		成果実績	カ国	13	12	12	11
			達成度	%	56	67	67	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	活動指標:AUによる平和安全保障活動の活性化 活動実績:AUによる平和安全保障活動予算(担当部局予算)		活動実績 (AU全体 予算)	千ドル	—	26,311	25,965	—
					135,144	141,025	(146,906)	
単位当たり コスト	14,986,044円/プロジェクト		算出根拠	平成22年度拠出額				
平成 23 年度 単 位 予 算 内 訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	拠出金	25,365	20,345	拠出額減額				
計	25,365	20,345						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件予算による実施案件については、AU側と協議しつつ、平和の定着に資するものを採択してきている(平成22年度は、「アフリカ・平和安全保障年」関連事業支援として、これまでに人権メモリアル協議セミナーの開催や「アフリカ平和・安全保障年」事業の広報活動の実施を支援)。各案件の進捗状況については、AUから中間報告(案件の成果、会計報告を含む)を提出させているほか、大使館経由でAUと緊密に連絡をとり、案件の進捗を随時フォローしている。</p> <p>AUは、「自らの紛争は自らの手で解決を」というオーナーシップに基づき、平和・安保分野での取組を強化してきている。「アフリカのオーナーシップ」を基本原則の1つとするTICADプロセスを進める我が国にとって、このようなAUの取組を支援することは重要な意義を有する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(拠出額減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			